



田中 弘 議員

地域産業の振興

問

産業の振興、活性化を攻めの姿勢で!!

高速道路伊予灘サービスエリアに特産品の販売所の設置、クラフトの里の「道の駅」登録、高速道路中山インターの早期設置を問う。

答 中村市長

中山インターチェンジ設置については、早期設置に向け、市では県や国との連携を深め、中山地域においても、機運の醸成を図られ、強い意気込みを示していただくよう環境整備についての支援、協力をお願いしたい。

答 産業建設部長

伊予灘サービスエリアは、恋人の聖地にも認定され、若者の来場者も多い。現在、サービスエリア内の店舗は、株式会社伊予鉄会館が管理運営を行っており、食堂やお土産等の販売をしている。今後、伊予市特産品の販売について、調査検討を重ねていきたい。

クラフトの里の道の駅登録については、登録要件を、ほぼ満たしている。しかし、トイレや駐車



高速道路伊予灘サービスエリア

場等の施設を24時間開放することにより、防犯や騒音等周辺環境へ与える影響が懸念されるとともに、国道56号の通行量の増加が見込まれない状況を踏まえると道の駅の登録による集客増の可能性は少ないと思われるので、道の駅の登録については今のところ考えていない。

伊予市総合計画実施計画に関連して

問

総合保健福祉センター、中山地域事務所の実施設計の検討がされている。規模、施設の内容等について説明を行い、理解を得る責任がある。省エネ・エコ対策の取組、基本方針を問う。

答 総務部長

中山地域事務所自治支援センターの建設については、これまでに、地域に対しては4回、区長、



総合保健福祉センター建設予定地

各種団体及び施設を利用される方々に検討段階での規模や施設内容についてわかりやすく説明を行っており、意見や要望をお伺いしながら進めている。

次に、総合保健福祉センターは、建設検討委員会の中で、市民が元気で幸せに暮らせるための拠点となることを基本理念として定めている。保健サービスの充実、子育て支援の拠点、生涯健康、生きがいづくりの交流拠点、ボランティア活動支援の拠点、だれもが使い

やすく人に優しい施設、環境に配慮した施設、経済性、耐久性に配慮した施設、災害発生時における防災拠点の8項目を基本方針とし、基本設計、実施設計を行うための手続を進めている。

また、省エネ・エコ対策への取組については、LED照明・屋上緑化・雨水利用・太陽光発電・自然採光の有効利用等が考えられる。

各施設において、技術的、経済的に導入が可能かどうか、また建設後の維持管理費用も視野に入れ、導入に向けて専門家の意見も参考にしながら検討を進めていきたい。

今後も検討委員会や関係部局、施設利用者の方々と十分な協議を行うとともに、市民の皆様のご意見も伺いながら、市民に喜んでいただける施設整備を進めていきたい。